



SANO NIHON UNIVERSITY
SECONDARY SCHOOL



[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A

vol. 53
2020.10.30



実際の選挙さながらに（主権者教育）

目次

主権者教育・生徒会発足	P 2
Global eye	P 3
輝く仲間たち	P 4

佐野日本大学中等教育学校
栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)
<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

主権者教育－理想の政党で模擬選挙

選挙権が18歳に引き下げられたことを受け、本校では主権者教育の一環として、隔年で模擬選挙を実施している。今年度は、生徒たちが自分たちの重視する政治分野や実現したい政策を考え、クラスごとに理想の政党や候補者を設定し、3・4年生で10月3日（土）模擬投票を行った。



当日は、佐野市選挙管理委員よりお借りした投票箱や記載台を設置し、実際の選挙に倣った手続きで投票を実施した。生徒たちは、緊張しながらも一人一人が真剣に自分の一票を投じていた。知識としてだけでなく、経験を通して選挙の仕組みや手続きを学ぶことで主権者としての自覚を確かなものとし、また政治への理解・関心を高めることができた。



△ 政党や候補者の設定のアンケートを Google フォームで実施

◆ 生徒会発足 ◆

◆ 生徒会役員選挙・生徒会役員認証式 ◆

10月7日（水）、生徒会役員選挙が行われた。今年は感染症対策のため、事前に撮影した立候補者の演説動画を各クラスで放映し、教室での投票となった。生徒たちは各候補者の演説にしっかりと耳を傾け、真剣に自分たちの代表を選んでいった。



選挙で選出された生徒会役員の認証式が、10月13日（火）に校長室で行われた。全生徒の代表としての自覚を持ち、本校のさらなる発展のため、力を合わせて活動してくれることを期待する。



会長
田中 菜々（4年・佐野・山形小）
副会長
大嶋 一颯（3年・小山・間々田小）
江森 瞳（3年・明和・明和西小）
執務委員長
井上 拓実（4年・佐野・界小）
副執務委員長
廣瀬乃々佳（2年・足利・毛野南小）
岡田 葉音（1年・足利・三重小）
議長
馬場 楓（4年・幸手・幸手小）

副議長
林 咲結理（2年・下野・祇園小）
宮崎 高虎（1年・栃木・栃木中央小）
書記委員長
金子 留玖（4年・伊勢崎・宮郷第二小）
副書記委員長
岩下 愛李（3年・足利・毛野南小）
広報委員長
吉川 遥（4年・佐野・佐野小）
副広報委員長
小川 真鶴（3年・宇都宮・豊郷南小）

スマホ・ケータイ安全教室

9月2日 1・2年生対象 会場：本校大会議室

パソコンやスマートフォンは、日常生活にも学習にも欠かせないツールになっている。特にコロナ禍により、動画配信等でも利用する機会が増え、それにともないトラブルも心配されている。講師のNTTドコモの西さんは、様々な具体例を取り上げ、SNSでは情報発信の際に何に気を付ける必要があるのか、トラブルになったらどうするのかなどを生徒に訴えた。生徒も、自分のスマートフォンが世界とつながっていることを実感し、便利でいろいろなことを楽しめる道具だが、情報の送受信に責任があることや、自分の時間の使い方について、考える機会となった。



… オンライン国際交流 ニュージーランド・フィールディング高校 …

新型コロナウイルスの影響による国際交流行事の延期・中止を受け、9月7日（月）に交流校であるニュージーランドのフィールディング高校とオンラインを通じての交流会を行った。

交流会はマオリの民族舞踊であるハカの披露で始まった。昨年度ニュージーランドに留



学していた本校生徒も加わり、会場は大いに盛り上がった。続いて互いにクイズ形式での学校紹介や、文化紹介で交流を深めた。本校生徒は茶道や書道の実演、和太鼓部の演奏などを披露した。生徒たちにとって、非常に有意義な機会となった。今後もこうした交流会を継続的に実施していく予定である。



不要な子供服を回収し、世界の難民キャンプに届けるプロジェクトにご協力ください。



『服のチカラプロジェクト』が昨年に続き行われている。7月8日（水）の1・2年生対象の説明会では、グローバル教育センターの丹野教諭より、SDGsや、世界情勢に触れながら、この取り組みの趣旨が伝えられた。ポスターコンクールも行われ、たくさんの力作、秀作が集まり、投票による審査が行われた。

結果は以下の通り。

第1位

仲三河詩葉さん（3年・佐野・城北小）

第2位

中村莉絵菜さん（3年・作新学院小）

第3位

三田 侑佳さん（3年・佐野・植野小）



△ 服のチカラプロジェクト説明会



△ 仲三河さんの作品

第7回 佐野市中学生親善ディベート大会
10月4日(日)オンライン大会

本校からはディベート部の2・3年生、8名の2チームがオンラインで参加した。今回のテーマの『日本は救急車を有料化すべきである。是か非か』という論題に向きあい、論戦を交わした。7月から始まった事前説明会や講習会、練習試合も Zoom 配信で行われ、生徒たちは練習を重ね、本戦に臨んだ。このような取り組みは、身近な課題に目を向ける機会になるので、今後も積極的に挑戦して欲しい。



輝く仲間たち

第42回全日本中学生水の作文コンクール優秀賞受賞！



林 咲結理
(下野・祇園小)



廣瀬乃々佳
(足利・毛野南小)

国土交通省水管理・国土保全局主催の第42回全日本中学生水の作文コンクールにおいて、2年生の林咲結理さんが「水と共に生きる」と題した作文で第2位に相当する優秀賞・厚生労働大臣賞に、同じく2年生の廣瀬乃々佳さんが「水のありがたさを知って」と題した作文で第8位相当の優秀賞・水の週間実行委員会会長賞に輝いた。

二人には副賞として、地方整備局（国土交通省の地方機関）または（独）水資源機構の出張所の一日事務所長体験があり、ダムの役割や治水事業などを学ぶことができる。

栃木県大会2種目で第2位!! 水泳部



9月13日（日）に栃木県立温水プール館で行われた第57回栃木県高等学校水泳競技大会新人大会において、4年生の山下聖さん（熊谷・吉岡小）が、100m背泳ぎと200m背泳ぎの2種目で見事第2位に輝いた。

少年の主張最優秀賞 県大会へ

9月19日（土）、宇都宮市文化会館で行われた第43回栃木県少年の主張発表県大会において、藤田未唯さん（3年・佐野・城北小）が地区予選を勝ち抜き出場した。



藤田さんは堂々と発表し奨励賞に輝いた。

浦田教育基金 学園創立60周年記念事業募金

本学園では、浦田教育基金並びに、学園創立60周年記念事業募金のご協力をお願いしております。皆様からお寄せいただきましたご厚意は、生徒学生の奨学金及び、本学園の教育・施設設備等に活用させていただきます。今後とも、本学園のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～ご寄付賜りました法人様・団体様～

安藤設計様、大島造園様、オクサワ商会様、神永写真館様、川田サッシ工業様、岸興業様、協伸建設様、グンエイ様、さくら総合サービス様、佐藤建物倉庫様、佐野瓦斯様、佐野中央自動車教習所様、篠崎木工様、昭和電機様、セキコー様、地中海料理アンドラ様、永沢緑花苑様、新里教材店様、ノザワスポーツ様、ハクエイエンタープライズ様、娘屋様、ヨコタスポーツ様
(令和2年3月～令和2年8月 五十音順)

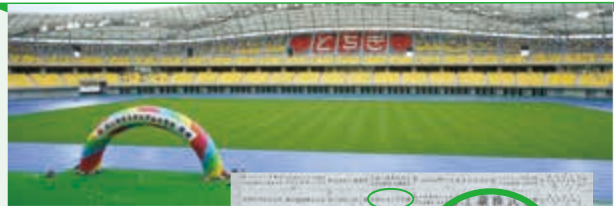
なお、多数の個人の皆様からもご寄付をお預かりいただきましたが、ご本人様からのお申し出により、ご芳名の掲載は控えさせていただきます。

《受配者指定寄付金制度》税制上の優遇措置が適用になります。

法人様…日本私立学校振興・共済事業団を通じるにより、寄付金は全額を損金算入することができます。
個人様…本学園発行の「寄付金受領書」を添えて確定申告を行うことで、税控除を受けることができます。

【お問合せ先】詳しくは、法人事務局 0283-25-0373 までお願いいたします。

カンセキスタジアムとちぎ完成



7月23日(木)、とちぎ国体開催に向けて整備されてきたカンセキスタジアムとちぎの完成式典が行われた。国体募金銘板には、寄付をした本学園の名も刻まれている。



◀国体募金銘板の前にて福田富一知事と長谷川理事長

編集 後記

新型コロナウイルスの関係でさまざまな催しが中止や延期になる中、今号ではたくさんの方の生徒たちの活躍を紹介することができた。新しい生活様式の中でも、生徒たちは明るく元気に今を過ごしている。

次号でもいろいろな方面での活躍を紹介したい。

(長谷川記)

広報わかざくら VOL.53

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555
☎0283-25-0111 (代) http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp